

# 『森のポーチ』 レシピ

デザイン制作：macokuma

## 材料

- 表布 13.5cm×23cm…2枚
- 中布 13.5cm×23cm…2枚
- ファスナー 20cm…1個
- 刺しゅう用接着芯 13.5cm×23cm…1枚  
(刺しゅう後に剥がすので手で破れる刺しゅう用の接着芯を使用する)

## 使用糸

### ポビンワーク

- Sara…48 / シャップスパン#60…56
- Sara…49 / シャップスパン#60…330
- Sara…56 / シャップスパン#60…66
- Sara…40 / シャップスパン#60…316

### フリーモーション刺しゅう

- シャップスパン#60…31・66・97

### ハンドステッチ

- シャップスパン#30…黒(402)

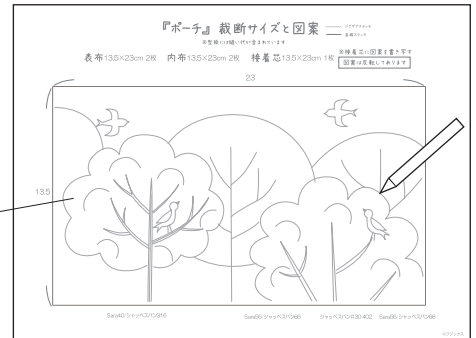
## 出来上がりイメージ



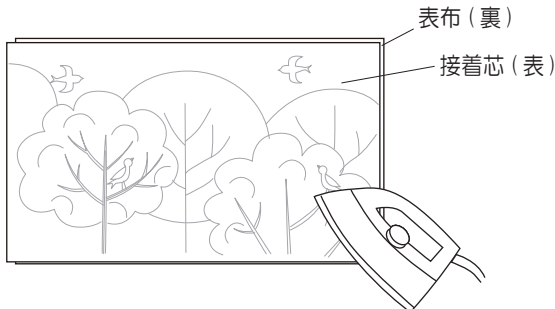
## 1. 表布に刺しゅうをする

- ①接着芯に別紙の図案を書き写す  
(図案は反転しています)

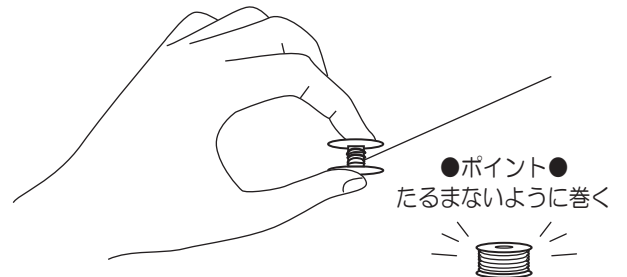
接着芯(表)



- ②①を表布(裏)にアイロンで接着する

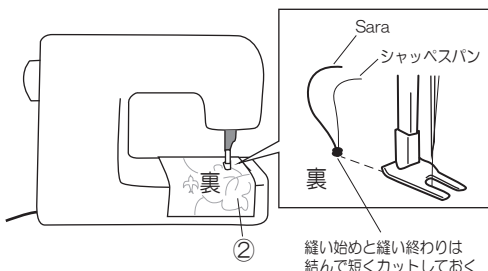


- ③Sara をポビンに巻く。

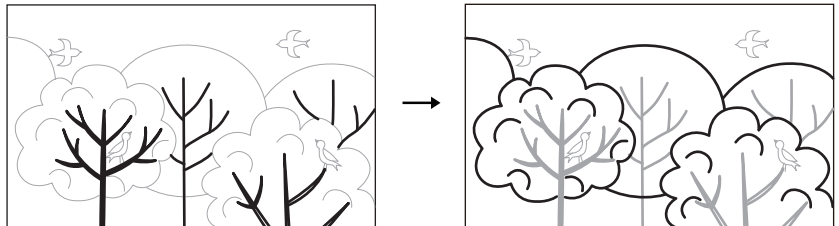


- ④上糸にシャップスパンをセットし、接着芯の面を上にして直線の図案を縫う。⑤木の縁を直線縫いとジグザグ縫いで刺しゅうする  
(下糸の調節の仕方はお手持ちのミシンの説明書をご確認ください)

※縫い始めと縫い終わりは下糸と上糸を裏面で結ぶため長く引き出しておく。



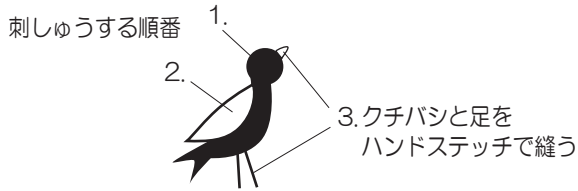
※図案通りに木の幹と枝を刺しゅうする。



## ●ポビンワークのポイント●

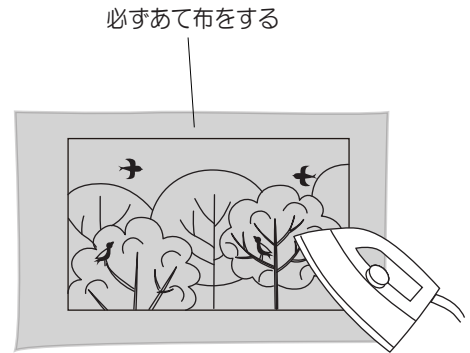
- ジグザグ幅の外円に針が刺さった状態で止め、布を動かし、次のひと針へとゆっくり縫い進めていくと均一な密度のラインができます。(内円に針を指して生地を動かすとジグザグの間隔が開いてしまい、きれいにできません)
- ジグザグの間隔に変化をつけて遊んでみましょう。

⑥ボビンワークが終わったら、上糸と下糸のどちらにもシャッペスパンをセットし、表側からフリーモーションで鳥の面を刺しゅうする。



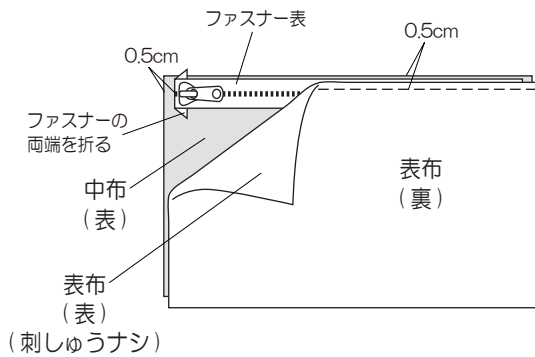
2. ポーチを仕立てる (上下シャッペスパン#60...56をセットする)

①1.の接着芯を剥がす。刺しゅうした布は多少縮むのでアイロンをかけてしわを伸ばす



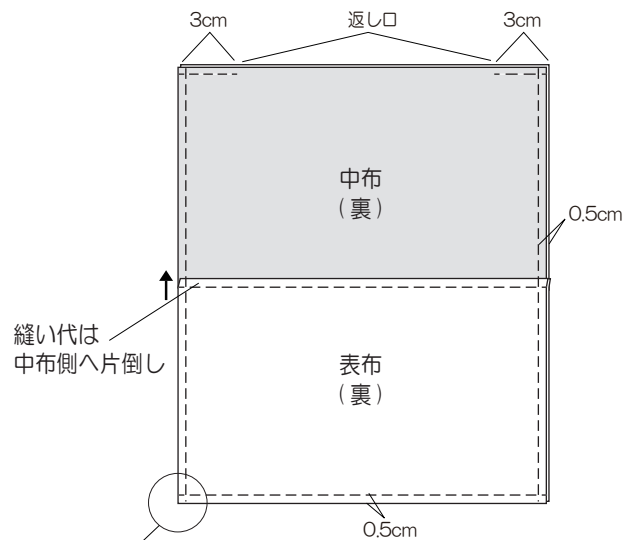
②表布と内布を中表に合わせ、ファスナーを挟んで縫う

③片方も同じように縫う



④②③を合わせて両脇を縫う

⑤返し口をあげて両底を縫う  
(縫う前にファスナーはあけておく)



⑥縫い代を片倒ししてマチを作る (表布、中布とも)

⑦返し口から表に返し、返し口を縫い閉じて形を整えてできあがり

